

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会 芳賀ブロック研修会 実施報告

家庭教育オピニオンリーダーの活動の活性化と充実を目指して実施されている家庭教育オピニオンリーダー連合会芳賀ブロック研修会が、10月17日（金）に益子町民ホールで開催されました。

研修会では、常磐大学人間科学部心理学科教授で、公認心理師でもある 秋山 邦久 氏を講師に、「ぼちぼち育てる命の教育～わたしたちのちょうどよい関わり～」と題して講演が行われました。

講師である秋山氏は、家族心理学や児童福祉臨床を専門とされており、社会教育委員、スクールカウンセラー、さらに全国の児童相談所や教育委員会、保育所のスーパーバイザーとして活躍されています。講演では、「コミュニケーションとは、内容と文脈（背景）から成り立っており、そのほとんどが文脈で占められている」という説明から始まり、上手にコミュニケーションをとるためには、話す内容よりも相手の立場とその場の状況（文脈）に合わせていくことが大切であることを、様々な例を挙げながら話されました。また、子どもに対する支援の方法について、支援する側がされる側の文脈に合わせて支援していくことや、見守り、願うだけでなく、行動に改善が見られるような支援が必要であることも話されました。

子どもたちの健やかな成長を目指して、家庭教育オピニオンリーダーとして今後どのように活動していけばよいか考える契機となる、学びの多い研修になりました。



交流会では、今年度の家庭教育オピニオンリーダー研修受講者と芳賀ブロックの会員の方々が集い、情報交換を行いました。昼食を食べながら、各支部の活動内容や活動していてうれしかったことについて話しました。活動に参加する方の笑顔が活動の原動力になっていることや、ネットワークができること、自分のスキルアップになるといったお話しから、受講者は、今後の活動への意欲を高めるとともに、支部の方々とのつながりをつくることができました。



芳賀ブロックの皆様、大変お世話になりました！